

表4

患児（者）について1

1. 問題点、困難

困難なし：1、友達付き合いの困難：19、1人遊び：3、ごっこあそびの困難：6
ルール遊びの困難：9、会話の困難：7、独り言：7、反響言語：1、こだわりがある：10
 イライラ：7、パニック：6、自傷：1、他傷：1、変な癖がある：2
 多動・落ち着かない：6、性的な問題がある：0、自発性がない：7、勉強が進まない：7
 学校（職場）に行かない：2、徘徊：0、睡眠の異常：3、言葉の理解が悪い：5、
閉じこもり：1、家庭内暴力：0、身体的問題がある（肥満：2、てんかん：2）
 その他：2（話さない、進学できない、歩行異常、失禁、リズム障害）

2. 現在の患児・者の不利益

就職できない：3、職場での不適切な扱い：1、誤解される：16、教育費がかさむ：4
授業についていけない：6、学校での不適切な扱い：3、学校、職場でのいじめ：5
通院医療費がかさむ：3、その他：2（友達付き合い、友達が出来ない）

3. 今後予想される患児・者の心配事、不利益

就学のこと：15、就職のこと：20、自分が働けなくなったときのお子さんのこと：15
結婚のこと：13、その他：3（進学、親の死後）

表5

患児（者）について2

1. 不利益に対する対策

児相など公的機関を利用：7、学校に相談：11、塾を利用：1、家庭教師を利用：1
医療機関に相談：12、その他：6（特になし、療育指導者、親の会、何もしていない）

2. 不利益に対する

	対策の効果	満足度
とても有効・満足	2	1
どちらかと言えば有効・満足	14	11
どちらかと言えば無効・不満足	2	5
全く無効・不満足	0	3
どちらでもない	3	1
無回答	3	3

図1：自閉症への援助・対策1

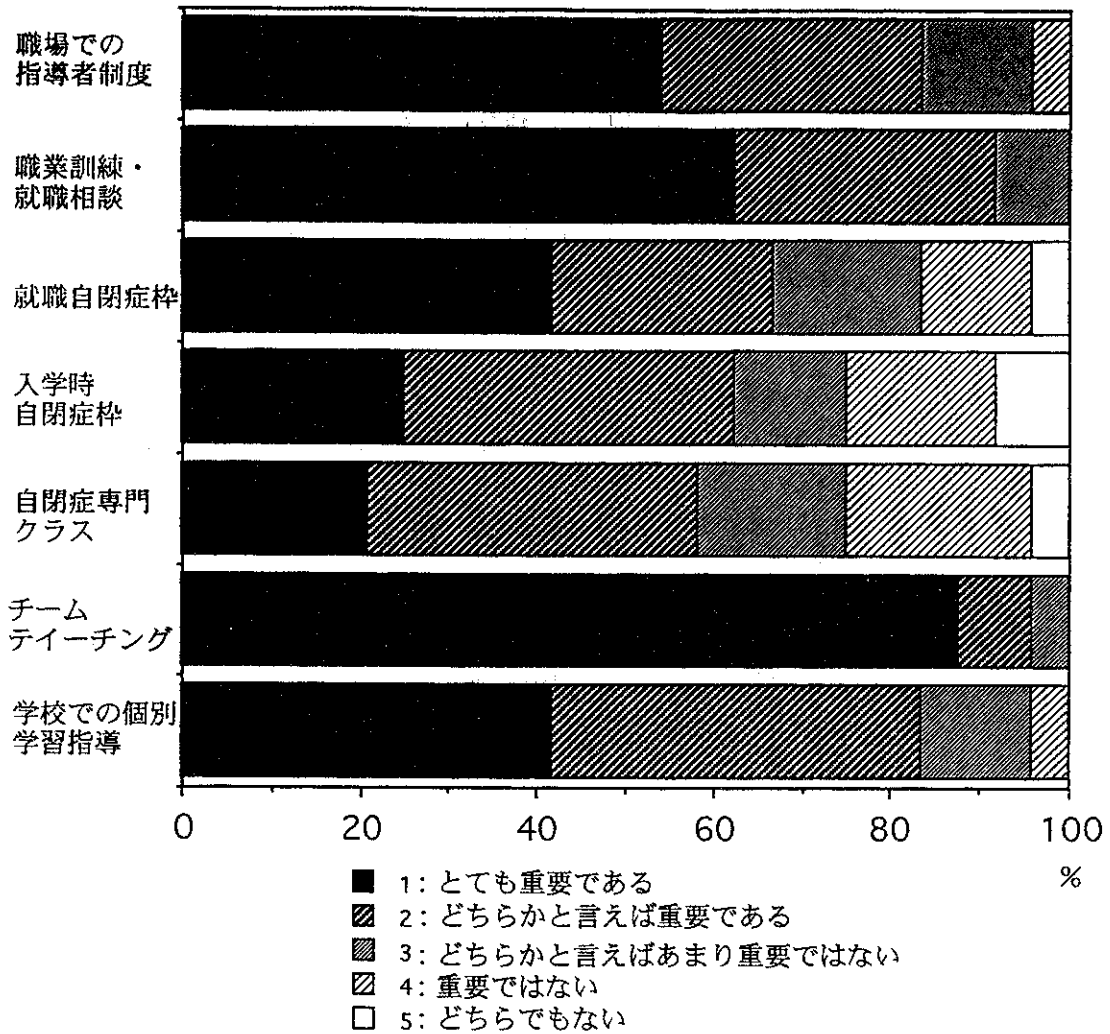
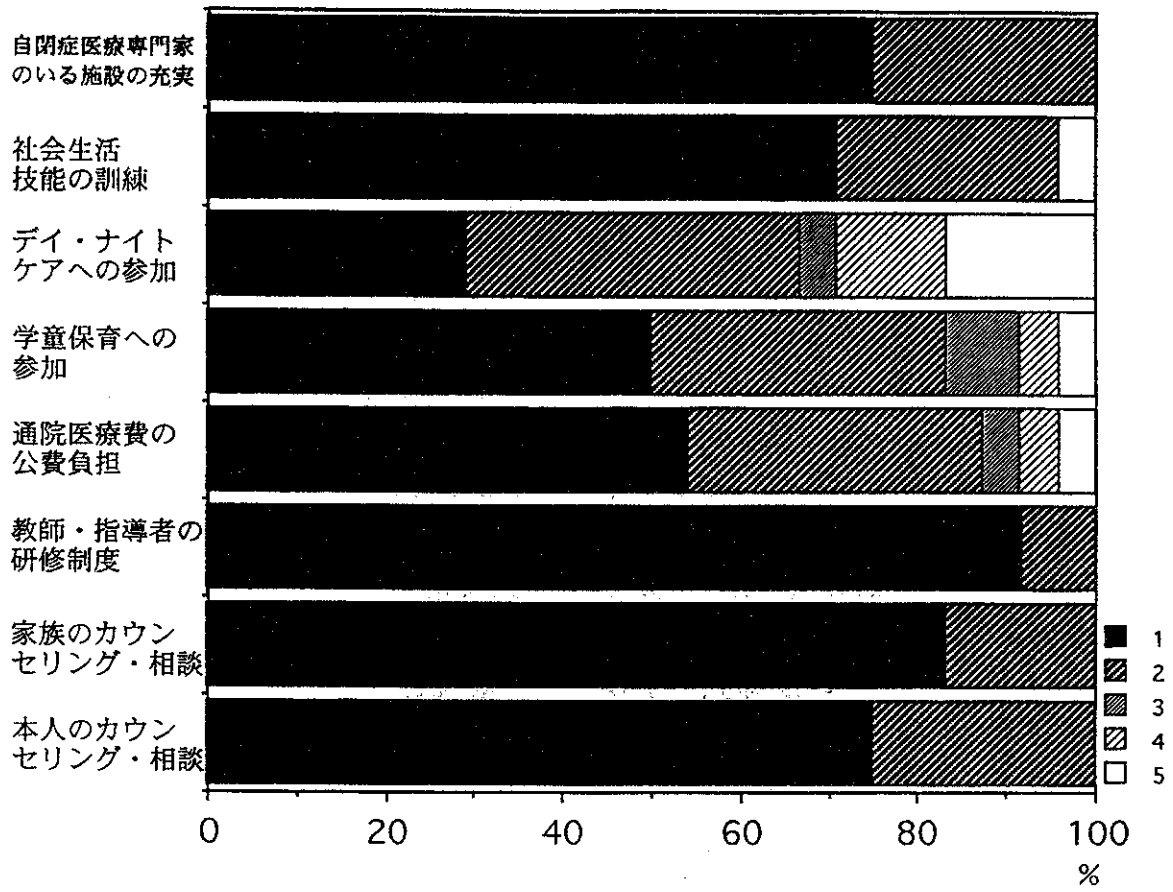


図2：自閉症への援助・対策2



「本人のカウンセリング・相談」、「自閉症医療専門家のいる施設の充実」はそれぞれ18例(75.0%)の回答者がとても重要と考えていた。「チーム・ティーチング」は「とても重要である」21名(87.5%)、「どちらかといえば重要である」2名(8.3%)、「社会生活技能の訓練」は「とても重要である」17(70.8%)、「どちらかといえば重要である」6名(25.0%)、「職業訓練・就職相談」は「とても重要である」15名(62.5%)、「どちらかといえば重要である」7(29.2%)、「通院医療費の公費負担」は「とても重要である」13名(54.1%)、「どちらかといえば重要である」8名(33.3%)であった。「学校での個別学習指導」、「学校での自閉症専門クラス」、「入学時自閉症枠」、「就職時自閉症枠」、「学童保育への参加」、「デイ・ナイトケアへの参加」のそれぞれを「とても重要である」と考えた者は全回答者の50.0%以下であった。特に「学校での自閉症専門クラス」は「とても重要である」と考えた者は5名(20.8%)であり、重要視しないまたはどちらでもないは計10名(41.7%)であった。

10. 重視すべき福祉制度について(図3、4)

扶養保険制度、医療費の公費負担制度は「重視されるべき」「どちらかと言えば重視されるべき」と肯定の意見が22名(91.7%)と最も多く、特に扶養保険制度については19名(79.1%)が重視されるべきとの答えであった。次いで特別児童扶養手当が2(87.5%)、障害基礎年金が20名(83.3%) (図

3)、障害児・者総合補償保険20名(83.3%)、ボランティア制度の充実20名(83.3%)、就学援助の奨励金20例(83.3%)が「重視されるべき」「どちらかと言えば重視されるべき」と肯定の意見であった。しかしながら、特別児童扶養手当、就学援助の奨励金については「重視されるべき」との積極的な肯定意見は50%未満であった。税制上の優遇措置は19名(79.1%)、公共交通機関・施設利用割引制度は15名(62.5%)が「重視されるべき」「どちらかと言えば重視されるべき」と肯定の意見であった。しかしながら、公共交通機関・施設利用割引制度については「重視されるべき」との積極的な肯定意見は4名(16.7%)にすぎなかった。

11. 自由記述による意見、感想

17名の方からご意見、感想を頂いた。年金など社会的保護(特に親が面倒見れなくなったとき)、自立生活(グループホームなど共同生活を含め)でできる福祉制度の創設・充実を7名が、学校(教師・指導者)・世間一般の人々に自閉症についてもっと理解して欲しい(理解がないために誤解される:5名)を7名が、自閉症によい教育機関(公的援助も含め)を4名が意見として記述していた。その他の意見としては手帳で病気を公にすると学校・職場でのいじめ・障害の対象になる恐れがある、また就職のハンデイとなる、就職の場がない、本人・家族のカウンセリング・相談の充実、交流の場を、学校側の自閉症に対する理解を高めるために学校と医療の連携を等の意見が述べ

図3：自閉症の福祉制度1

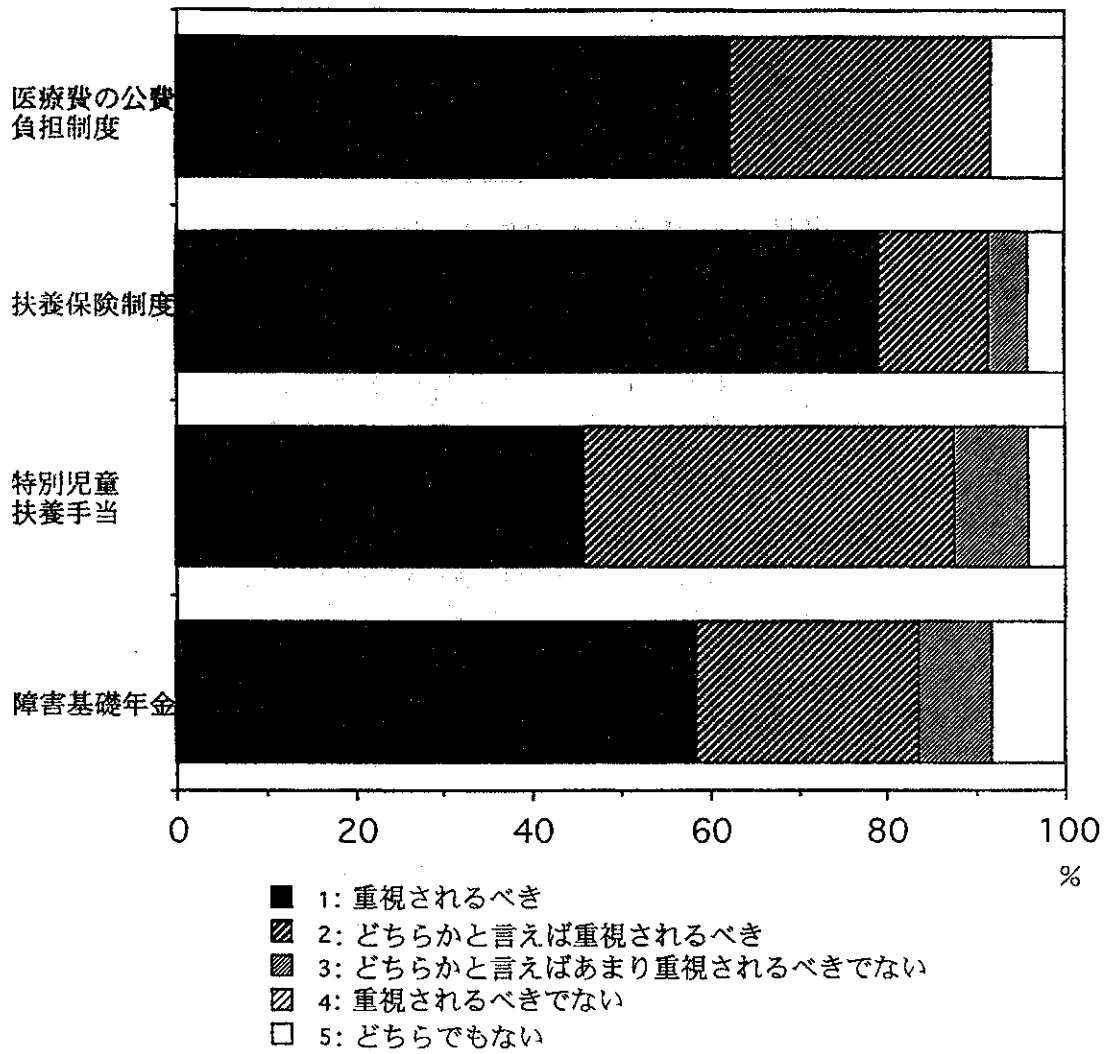
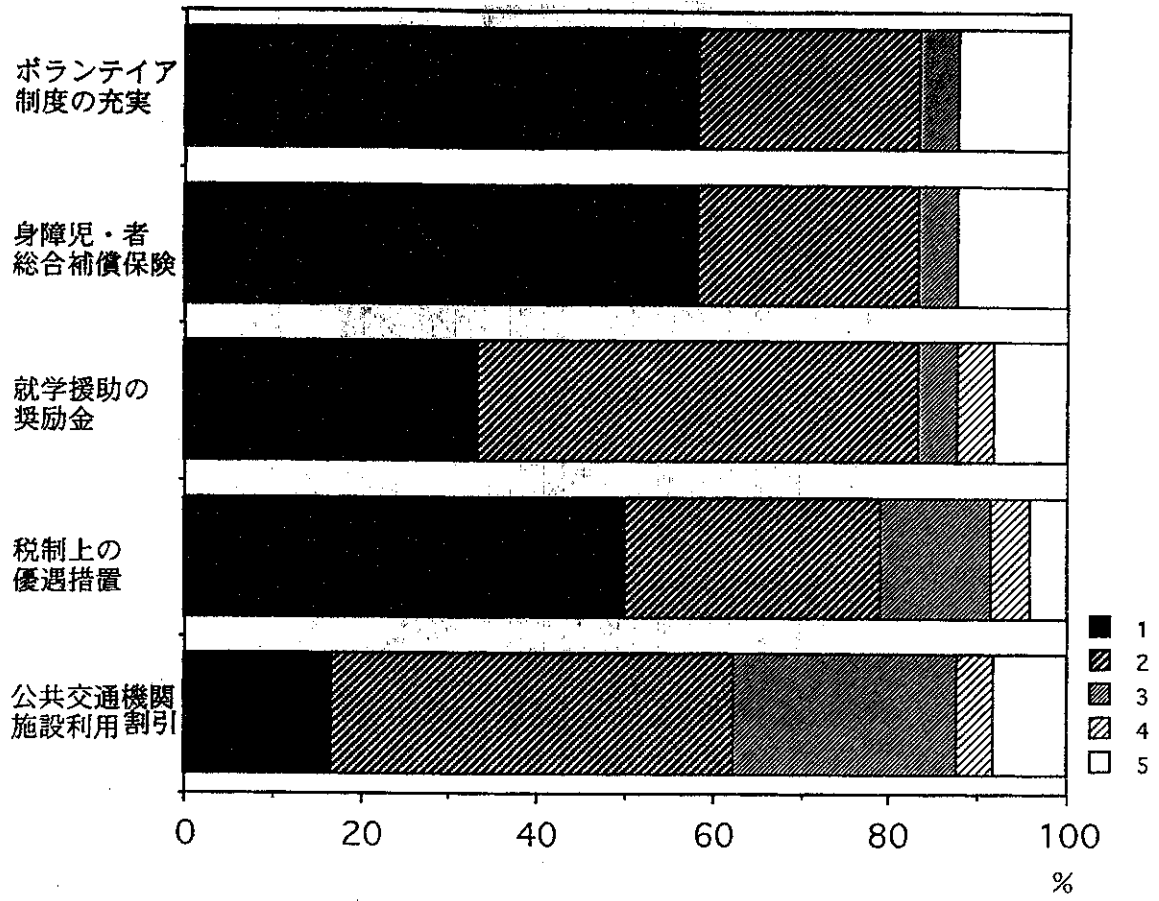


図4：自閉症の福祉制度2



られた。

12. 高機能自閉症患者本人からの調査

19歳の短大生と23歳の専門学校生の男性患者の回答が得られた。学校は兩人とも高等学校まで普通学級で対応していた。現在の問題点・困難として前者は友達付き合いの困難、独り言、物忘れ、後者は友達付き合いの困難、会話の困難、肥満を訴えていた。兩人とも現在医療機関には係っていない。就職のことで不利益を感じているが、それに対する対策はしていない。重要とされる対策・援助及び重視すべき福祉制度については表6、7のようであった。手帳については23歳の男性が療育手帳2Bをもっていたが、19歳の男性はもっていなかった。しかしながら、兩人ともに自閉症専用の手帳を作り、社会福祉制度を活用することについては「どちらかと言えば賛成である」との意見であった。自由記述による意見、感想は特になし、無回答であった。

D. 考察

最近の自閉症の疫学的調査では自閉症の有病率はおおよそ0.1 - 0.2%であり、我が国での調査によると従来自閉症の内約20%と考えられていた知能指数70以上の高機能自閉症は約半数近くある事が明らかとなった。この上にアスペルガー症候群の有病率を加えるとその頻度は精神遅滞の頻度の約半数近くになると試算される。これはてんかんの頻度に相当するもの

であり、非常に多くの者が社会的ハンディキャップを抱えながら、福祉の恩恵によくすることなく生活をしていることが想定される。

患児・者の困難、問題点としては本症の主症状である対人関係の障害、コミュニケーションの障害から来る友達付き合い、遊び、会話等の困難および固執性が多かった。その他勉強が進まない学習の問題をもっているケースも目立った。現在の患児・者の不利益としては誤解される、授業についていけない、学校・職場でのいじめであり、学校・社会の自閉症に対する理解不足、患児・者の知能指数レベルと聴覚性言語の認知・理解レベルのギャップに起因していると考えられる。将来の心配事、不利益としては親が面倒見れなくなったときのこと、就職、学業のことであり、多くの保護者が自立の不安を抱えていた。今回の我々の高機能自閉症患児・者の調査は調査者の診る患児・者層が小児神経科、小児神経外来受診者ということもあり比較的若年者が多く、幼稚園から高等学校在学中のものが21名(87.5%)であったことも反映していると思われた。

このような不利益に対して多くの方が公的機関、医療機関に相談している。2/3の方が効果を認め、半数が満足と考えているが、とても有効、満足はそれぞれ2名と1名であり十分には満たされていないのが現状であると思われる。

自閉症専用の手帳を作ることにについては20名が肯定的意見であった

表6

重要と思われる援助・対策

項目	19歳男性	23歳男性
・学校での個別学習指導	2	2
・チーム・ティーチング	3	1
・自閉症専門のクラス	2	2
・入学時自閉症枠	3	2
・就職の自閉症枠	3	2
・職業訓練、就職相談	1	1
・ジョブ・コーチ	2	2
・本人のカウンセリング・相談	1	1
・家族のカウンセリング・相談	2	2
・教師・指導者の研修制度	2	2
・通院医療費の公費負担	1	3
・学童保育への参加	3	2
・デイ・ナイトケアへの参加	2	2
・社会生活技能の訓練	1	1
・自閉症医療専門家のいる施設の充実	2	2

1：とても重要である、2：どちらかと言えば重要である、3：どちらかと言えばあまり重要ではない、4：重要ではない、5：どちらでもない

表7

重視されるべき福祉制度

項目	19歳男性	23歳男性
・障害基礎年金	1	3
・特別児童扶養手当など	2	3
・扶養保険制度	1	1
・医療費の公費負担制度	2	2
・公共交通機関・施設利用割引	1	2
・税制上の優遇措置	2	3
・就学援助の奨励金	2	2
・心身障害児・者総合補償保険	1	2
・福祉ボランティア制度の充実	1	2

1：重視されるべき、2：どちらかと言えば重視されるべき、3：どちらかと言えばあまり重視されるべきでない、4：重視されるべきではない、5：どちらでもない

が、個人的な意見でレッテルを張られる、偏見を生むなどの事を危惧するものもあった。やはり社会に自閉症の理解を深める必要性が感じられた。

必要とされる援助・対策では「教師・指導者の研修制度」、「本人のカウンセリング・相談」、「家族のカウンセリング・相談」、「自閉症医療専門家のいる施設の充実」の4項目は回答者全員が重要視していた。「教師・指導者の研修制度」は患児・者が学校、職場などで誤解される、不適切な扱いの原因として自閉症が教師や指導者に十分理解されていないと家族が考えていることを反映するものであろう。

「本人のカウンセリング・相談」、「家族のカウンセリング・相談」については本人の様々な行動異常、不利益、それに対する家族のストレス、不安、将来のこと等の相談、アドバイスの需要が多いこと、更に現状では児童相談所、学校等の公的機関、医療機関に対策を求めているが充分満足のいく対策がなされていないと家族が思っていることを表わしている。

「自閉症医療専門家のいる施設の充実」に関しては自閉症医療専門家の育成、医学的な研究の推進、原因の解明、治療法の開発等医学に対する期待の現われであり、小児神経科医を中心に神経生物学的方面から研究を進める必要がある。「チームティーチング」、「学校での個別学習指導」を重要と考える頻度は高かったが「入学時自閉症枠」「自閉症専門クラス」はそれほど多くは求めていなかった。これ

は普通児と同じクラスで交流をもちながら学習を進めていきたいとの考えであり、「社会生活技能訓練」のニーズが高かったことも単に個別に訓練すると言うよりもこのような背景があるものと思われる。「就職訓練・相談」、「職場での指導者制度」についてもニーズは多く対人関係の障害、誤解から来る就職の不安を反映している。

重視されるべき自閉症の福祉制度としては「親が面倒見切れなくなったとき」の不利益を反映して「扶養保険制度」、「医療費の公費負担制度」が最も重視されており、次いで「障害基礎年金」、「特別児童扶養手当」の頻度が高い。「税制上の優遇措置」、「公共交通機関・施設の利用割引制度」、「就学援助の奨励金」は重視度が他に比べて低かった。調査対象が若年であり、実感として意識されなかった可能性がある。

自閉症に対する福祉施策には昭和44年の指導訓練の経費助成、昭和55年からの精神薄弱施設の一種として自閉症施設の設置が認められる様になった点がある。しかしながら、精神遅滞の福祉の一部として位置付けられており、自閉症独自の福祉制度は設けられていない。自閉症の多くが精神遅滞を合併するため精神遅滞の福祉制度が適用されているのが現状である。今回我々が調査対象とした高機能自閉症、アスペルガー症候群は精神遅滞がないために一般には福祉制度の適応になっていない。しかし、今回の小人数の調査でも高機能自閉症、ア

スペルガー症候群患児・者は彼等の持つ障害から様々な社会的不利益を被っており、適切な援助、対策を必要としていることが明らかにされた。更に、規模を大きくした詳細な調査が望まれる。

結論

高機能自閉症、アスペルガー症候群患児・者は疾患から生じる様々な困難があり、そのことから起因する知能指数レベルだけでは予測し得ない学校生活・社会生活上の不利益を抱えている。患児・者家族は自閉症の認識の向上を図ると共に本人、家族へのカウンセリング・相談、自閉症医療専門家の充実等の援助・対策、扶養保険制度、医療費の公費負担、障害基礎年金等の福祉制度を重要視している。今後更に詳細な検討が必要である。

表1

(家族用)

平成10年度厚生科学研究(障害者保健福祉総合研究事業)

「高次神経機能障害者・児の日常生活における身体障害者福祉法の適用および福祉のあり方について」に関する研究(主任研究者:国立精神・神経センター 宇野 彰)

分担研究:「高機能自閉症児・者の求める社会福祉援助内容に関する調査」調査用紙

分担研究者:橋本俊顕(鳴門教育大学、障害児教育講座)

電話:0886-87-1311(内線346)

ファックス:0886-87-1053

メール:thashimo@naruto-u.ac.jp

次の質問について、ご記入または当てはまる数字に○をつけてください。

1. 先ず、回答いただくあなたについておうかがいします。

1) あなたの性別は？

1.男性 2.女性

2) お子さんとあなたのご関係は？

お子さんから見て、あなたは 1.父親 2.母親 3.その他()にあたる。

3) 失礼ですが年齢は？

_____歳

4) ご職業は？

1.会社員 2.自営業 3.技術者 4.公務員 5.自由業 6.専業主婦

7.パート(週 時間) 8.無職 9.その他()

5) 何人家族ですか？

お子さんを含めて、大人_____人、 子ども_____人

6) お子さんが同居している家族構成は？

1.父 2.母 3.祖父(父方、母方) 4.祖母(父方、母方) 5.兄 人

6.姉 人 7.弟 人 8.妹 人 9.その他(具体的に)

2. 次に、お子さんについておうかがいします。

7) 何番目のお子さんですか？

_____人中_____番目

8) お子さんの性別は？

1.男性 2.女性

9) 年齢は？

_____歳

10) 学校は？

1.小学校()年生 2.中学校()年生 3.高等学校()年生

4.大学()年生 5.その他()

在学中、卒業、その他

11) 学校では、どのような学級(クラス)に通っていますか(いましたか)？

1.普通学級 2.情緒障害児学級 3.特殊学級 4.養護学校 5.その他()

12) お仕事をなさっている場合

1.常勤職員 2.非常勤・パート 3.アルバイト 4.その他()

13) お仕事の内容は？(具体的に)

3. お子さんの病気のことおよびお子さんが困っていらっしゃることにについておうかがいします。

14) お子さんの最近の知能指数についておうかがいします(判らなければ主治医の先生にお聞きください)。

知能指数又は発達指数()

- 1 5) 病気で、お子さんが困っていらっしゃることにについておうかがいします。
 具体的には、現在どのような問題点、困難をお持ちですか？当てはまるもの全てに○をつけてください。
- 1.特に困難はない 2.友達つきあいの困難 3.一人遊び 4. ごっこあそびの困難
 5.ルール遊びの困難 6.会話の困難 7.独り言 8.反響言語 9.こだわりがある
 10.イライラ 11.パニック 12.自傷 13.他傷 14.変な癖がある()
 15.多動・落ち着かない 16.性的な問題がある() 17.意欲がない
 18.自発性がない 19.勉強が進まない 20.学校(職場)に行かない 21.徘徊
 22.睡眠の異常 23.言葉の理解が悪い 24.閉じこもり 25.家庭内暴力
 26.身体的問題がある(肥満、高血圧、ひきつけ、てんかん、チックなど)
 27.その他()
- 1 6) お子さんが何歳の頃に、異常と気付かれましたか？
 _____歳ころ
- 1 7) その時どちらへ相談に行かれましたか？
 1.児童相談所 2.保健所(市、町、村などの保健センター) 3.教育相談
 4.病院(科) 5.学校・幼稚園・保育所 6.その他()
- 1 8) その時、誰に、何と言われましたか？
 誰に：
 言われたこと(具体的に)：
- 1 9) その時、どのようにお感じになりましたか？出来るだけ具体的にお書きください。
- 2 0) 現在、この病気で医療機関にかかっていますか？
 1.かかっていない 2.かかっている(診療科は？)
- 2 1) 現在、お子さんが困っておられることで、どのような不利益(ハンディキャップ)を受けていますか？当てはまるもの全てに○をつけてください。
 1.就職できない 2.解雇されるなど職場での扱いが適切でなかった 3.誤解される
 4.授業についていけない 5.学校での扱いが適切でなかった 6.学校、職場でいじめを受けた 7.教育費がかさむ 8.通院医療費がかさむ
 9.その他(具体的に)
- 2 2) 今後、ご心配になっていること、考えられる不利益はありますか？当てはまるもの全てに○をつけてください。
 1.就学のこと 2.就職のこと 3.結婚のこと 4.自分が働けなくなったりした後のお子さんのこと 5.その他(具体的に)
- 2 3) それらの不利益に対して、現在どのような対策をとっていらっしゃいますか？当てはまるもの全てに○をつけてください。
 1.児童相談所、教育相談所などの公的機関を利用 2.お子さんが通っている学校に

- 相談 3.塾を利用 4.家庭教師を利用 5.病院などの医療機関に相談 6.通所施設に相談 7.その他(具体的に)
- 2 4) 現在のそれらの対策について、どの程度の効果があると感じておられますか？
 1. とても効果があると思う 2.どちらかというの効果があると思う 3.どちらかという効果はないと思う 4.全く効果はないと思う 5.どちらでもない
- 2 5) それらの対策に、どの程度満足しておられますか？
 1.とても満足している 2.どちらかという満足している 3.どちらかという満足していない 4.全く満足していない 5.どちらでもない
4. どのような援助、対策があれば良いとお考えですか？また、それらはどの程度重要でしょうか？それぞれに当てはまるもの一つに○をつけてください。
- 2 6) 学校での個別学習指導
 1.とても重要である 2.どちらかと言えば重要である 3.どちらかと言えばあまり重要ではない 4.重要ではない 5.どちらでもない
- 2 7) 担任の教師と専門の教師との連携による教育・指導(チーム・ティーチング)
 1.とても重要である 2.どちらかと言えば重要である 3.どちらかと言えばあまり重要ではない 4.重要ではない 5.どちらでもない
- 2 8) 学校での自閉症専門のクラス
 1.とても重要である 2.どちらかと言えば重要である 3.どちらかと言えばあまり重要ではない 4.重要ではない 5.どちらでもない
- 2 9) 入学時における自閉症の枠の創設
 1.とても重要である 2.どちらかと言えば重要である 3.どちらかと言えばあまり重要ではない 4.重要ではない 5.どちらでもない
- 3 0) 就職における自閉症の枠の創設
 1.とても重要である 2.どちらかと言えば重要である 3.どちらかと言えばあまり重要ではない 4.重要ではない 5.どちらでもない
- 3 1) 職業訓練、就職相談
 1.とても重要である 2.どちらかと言えば重要である 3.どちらかと言えばあまり重要ではない 4.重要ではない 5.どちらでもない
- 3 2) 職場での指導者制度(ジョブ・コーチ)
 1.とても重要である 2.どちらかと言えば重要である 3.どちらかと言えばあまり重要ではない 4.重要ではない 5.どちらでもない
- 3 3) 本人のためのカウンセリング・相談
 1.とても重要である 2.どちらかと言えば重要である 3.どちらかと言えばあまり重要ではない 4.重要ではない 5.どちらでもない
- 3 4) 家族のためのカウンセリング・相談
 1.とても重要である 2.どちらかと言えば重要である 3.どちらかと言えばあまり重要ではない 4.重要ではない 5.どちらでもない
- 3 5) 教師や指導者のための研修制度
 1.とても重要である 2.どちらかと言えば重要である 3.どちらかと言えばあまり重要ではない 4.重要ではない 5.どちらでもない
- 3 6) 通院医療費の軽減(公費負担)

- 1.とても重要である 2.どちらかと言えば重要である 3.どちらかと言えばあまり重要ではない 4.重要ではない 5.どちらでもない
- 37) 学童保育への参加
1.とても重要である 2.どちらかと言えば重要である 3.どちらかと言えばあまり重要ではない 4.重要ではない 5.どちらでもない
- 38) デイケア、ナイトケアへの参加
1.とても重要である 2.どちらかと言えば重要である 3.どちらかと言えばあまり重要ではない 4.重要ではない 5.どちらでもない
- 39) 社会生活技能の訓練
1.とても重要である 2.どちらかと言えば重要である 3.どちらかと言えばあまり重要ではない 4.重要ではない 5.どちらでもない
- 40) 自閉症児医療専門家のいる施設の充実
1.とても重要である 2.どちらかと言えば重要である 3.どちらかと言えばあまり重要ではない 4.重要ではない 5.どちらでもない
5. 手帳についておうかがいします。
- 41) 現在、お子さんは何か手帳をお持ちですか？
1.身体障害者手帳（ 級） 2.療育手帳（等級： ） 3.精神障害者手帳
4.持っていない
- 42) 自閉症のための専用の手帳を作り、社会的な福祉制度を活用できることについてはいかがお考えですか？
1.大いに賛成である 2.どちらかと言えば賛成である 3.どちらかと言えば賛成しない 4.全く賛成しない 5.どちらともいえない
6.その他（)
6. 自閉症のための福祉制度には、どのようなものが含まれるべきだと思いますか？また、それらはどの程度重視されるべきでしょうか？それぞれについて、当てはまるもの一つ○をつけてください。
- 43) 障害基礎年金（障害者のための国民年金で、20歳未満に発病した場合には保険料を納めなくても20歳から年金が支給される）
1.重視されるべき 2.どちらかと言えば重視されるべき 3.どちらかと言えばあまり重視されるべきでない 4.重視されるべきではない 5.どちらでもない
- 44) 特別児童扶養手当など（20歳未満の障害児を養育している父母や養育者に支給される特別手当）
1.重視されるべき 2.どちらかと言えば重視されるべき 3.どちらかと言えばあまり重視されるべきでない 4.重視されるべきではない 5.どちらでもない
- 45) 扶養保険制度（保護者が死亡したり重度の障害になった場合に、残された障害者に支給される私的な年金共済制度）
1.重視されるべき 2.どちらかと言えば重視されるべき 3.どちらかと言えばあまり重視されるべきでない 4.重視されるべきではない 5.どちらでもない
- 46) 医療費の公費負担制度

- 1.重視されるべき 2.どちらかと言えば重視されるべき 3.どちらかと言えばあまり重視されるべきでない 4.重視されるべきではない 5.どちらでもない
 - 47) 公共交通機関、公共施設利用の割引
 - 1.重視されるべき 2.どちらかと言えば重視されるべき 3.どちらかと言えばあまり重視されるべきでない 4.重視されるべきではない 5.どちらでもない
 - 48) 税制上の優遇措置
 - 1.重視されるべき 2.どちらかと言えば重視されるべき 3.どちらかと言えばあまり重視されるべきでない 4.重視されるべきではない 5.どちらでもない
 - 49) 就学援助のための奨励金
 - 1.重視されるべき 2.どちらかと言えば重視されるべき 3.どちらかと言えばあまり重視されるべきでない 4.重視されるべきではない 5.どちらでもない
 - 50) 障害者本人の傷害（けが）や、他人に与えてしまった損害の賠償（対人・対物）のための損害保険会社による保険制度（心身障害児・者総合保障保険）
 - 1.重視されるべき 2.どちらかと言えば重視されるべき 3.どちらかと言えばあまり重視されるべきでない 4.重視されるべきではない 5.どちらでもない
 - 51) 福祉ボランティア制度の充実
 - 1.重視されるべき 2.どちらかと言えば重視されるべき 3.どちらかと言えばあまり重視されるべきでない 4.重視されるべきではない 5.どちらでもない
7. 自閉症に対する福祉、その他で日頃感じておられること、今回の質問へのご意見、ご感想などございましたらお書きください。

ありがとうございました。貴重なご意見を大いに活用させていただきたく存じます。

表 2

(本人用)

平成10年度厚生科学研究(障害者保健福祉総合研究事業)

「高次神経機能障害者・児の日常生活における身体障害者福祉法の適用および福祉のあり方について」に関する研究(主任研究者:国立精神・神経センター 宇野 彰)

分担研究:「高機能自閉症児・者の求める社会福祉援助内容に関する調査」調査用紙

分担研究者:橋本俊顕(鳴門教育大学、障害児教育講座)

電話:0886-87-1311(内線346)

ファックス:0886-87-1053

メール:thashimo@naruto-u.ac.jp

次の質問について、ご記入または当てはまる数字に○をつけてください。

1. 先ず、回答いただくあなたについておうかがいします。

1) あなたの性別は？

1.男性 2.女性

2) 失礼ですが年齢は？

_____歳

3) ご職業は？

1.会社員 2.自営業 3.技術者 4.公務員 5.自由業 6.専業主婦

7.パート(週 時間) 8.無職 9.その他()

4) 何人家族ですか？

_____人

5) あなたが同居している家族構成は？

1.父 2.母 3.祖父(父方、母方) 4.祖母(父方、母方) 5.兄 人

6.姉 人 7.弟 人 8.妹 人 9.その他(具体的に)

6) あなたは何番目のお子さんですか？

_____人中_____番目

7) 学校は？

1.小学校()年生 2.中学校()年生 3.高等学校()年生

4.大学()年生 5.その他()

在学中、卒業、その他

8) 学校では、どのような学級(クラス)に通っていますか(いましたか)？

1.普通学級 2.情緒障害児学級 3.特殊学級 4.養護学校 5.その他()

9) お仕事をなさっている場合

1.常勤職員 2.非常勤・パート 3.アルバイト 4.その他()

10) お仕事の内容は？(具体的に)

2. あなたの病気のことおよび困っていらっしゃることにについておうかがいします。

11) あなたの最近の知能指数についておうかがいします(判らなければ主治医の先生にお聞きください)。

知能指数又は発達指数()

12) 病気で、あなたが困っていらっしゃることにについておうかがいします。

具体的には、現在どのような問題点、困難をお持ちですか？当てはまるもの全てに○をつけてください。

1.特に困難はない 2.友達つきあいの困難 3.一人遊び 4.ごっこあそびの困難

5.ルール遊びの困難 6.会話の困難 7.独り言 8.反響言語 9.こだわりがある

10.イライラ 11.パニック 12.自傷 13.他傷 14.変な癖がある()

15.多動・落ち着かない 16.性的な問題がある() 17.意欲がない

18.自発性がない 19.勉強が進まない 20.学校(職場)に行かない 21.徘徊

22.睡眠の異常 23.言葉の理解が悪い 24.閉じこもり 25.家庭内暴力

26.身体的問題がある(肥満、高血圧、ひきつけ、てんかん、チックなど)

27.その他（

）

1 3) あなたが何歳の頃に、異常と気付かれましたか？

_____ 歳ころ

1 4) その時どちらへ相談に行かれましたか？

1.児童相談所 2.保健所（市、町、村などの保健センター） 3.教育相談

4.病院（科） 5.学校・幼稚園・保育所 6.その他（

）

1 5) その時、誰に、何と言われましたか？

誰に：

言われたこと（具体的に）：

1 6) その時、どのようにお感じになりましたか？出来るだけ具体的にお書きください。

1 7) 現在、この病気で医療機関にかかっていますか？

1.かかっていない 2.かかっている（診療科は？

）

1 8) 現在、あなたが困っておられることで、どのような不利益（ハンディキャップ）を受けていますか？当てはまるもの全てに○をつけてください。

1.就職できない 2.解雇されるなど職場での扱いが適切でなかった 3.誤解される

4.授業についていけない 5.学校での扱いが適切でなかった 6.学校、職場でいじめを受けた 7.教育費がかさむ 8.通院医療費がかさむ

9.その他（具体的に

）

1 9) 今後、ご心配になっていること、考えられる不利益はありますか？当てはまるもの全てに○をつけてください。

1.学校のこと 2.就職のこと 3.結婚のこと 4.病気のこと 5.その他（具体的に

）

2 0) それらの不利益に対して、現在どのような対策をとっていらっしゃいますか？当てはまるもの全てに○をつけてください。

1.児童相談所、教育相談所などの公的機関を利用 2.あなたが通っている学校に

相談 3.塾を利用 4.家庭教師を利用 5.病院などの医療機関に相談 6.通所施設に相談 7.その他(具体的に

）

2 1) 現在のそれらの対策について、どの程度の効果があると感じておられますか？

1. とても効果があると思う 2.どちらかというところ効果があると思う 3.どちらかというところ効果はないと思う 4.全く効果はないと思う 5.どちらでもない

2 2) それらの対策に、どの程度満足しておられますか？

1. とても満足している 2.どちらかというところ満足している 3.どちらかというところ満足していない 4.全く満足していない 5.どちらでもない

3. どのような援助、対策があれば良いとお考えですか？また、それらはどの程度重要で

しょうか？それぞれに当てはまるもの一つに○をつけてください。

- 2 3) 学校での個別学習指導
1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない
- 2 4) 担任の教師と専門の教師との連携による教育・指導 (チーム・ティーチング)
1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない
- 2 5) 学校での自閉症専門のクラス
1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない
- 2 6) 入学時における自閉症の枠の創設
1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない
- 2 7) 就職における自閉症の枠の創設
1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない
- 2 8) 職業訓練、就職相談
1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない
- 2 9) 職場での指導者制度 (ジョブ・コーチ)
1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない
- 3 0) 本人のためのカウンセリング・相談
1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない
- 3 1) 家族のためのカウンセリング・相談
1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない
- 3 2) 教師や指導者のための研修制度
1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない
- 3 3) 通院医療費の軽減 (公費負担)
1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない
- 3 4) 学童保育への参加
1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない
- 3 5) デイケア、ナイトケアへの参加
1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり重要ではない 4. 重要ではない 5. どちらでもない
- 3 6) 社会生活技能の訓練
1. とても重要である 2. どちらかと言えば重要である 3. どちらかと言えばあまり